



応援奨学金

Report  
Vol.128

法学部独自の奨学金制度  
「やる気応援奨学金」を利用した  
学生の体験をご紹介します



最高裁判所訪問での記念写真

## はじめに

私は春季休暇中の1カ月間、ドイツの司法都市であるカールスルーエに滞在しました。語学研修も兼ねて、以前から個人的に興味を持っていたドイツの裁判制度について学んできました。

## 身近な暮らしのなかにある最高裁判所

ドイツの最高裁判所である Bundesgerichtshof (BGH) は、ヨーロッパのお城のような豪勢な造りです。日本の最高裁判所は無機質な鉄筋コンクリート建築のため、雰囲気があるで違います。初めてドイツの最高裁判所を見たときは、ドイツにおける最高位の裁判所がこ

んな賑やかな町中であってよいのかと驚きました。周囲には市街地やデパート、ホテルがあり、最高裁判所は市民生活のただなかに存在しています。私は最高裁判所に対して、なんともいえない親近感を抱きました。現地では、チュービンゲンのロースクール生たちと一緒に裁判所を見学しました。

まず大きな法廷でBGH全体の説明を受けたあと、各法廷と図書館、展示室を回りました。どの法廷もみな会議室のような厳めしい造りではありません。展示室にはドイツの裁判所の古い資料や、法服などが展示されていました。最高裁での裁判傍聴は叶いませんでしたが、とても貴重な経験ができました。

## 市民裁判官と行政裁判所

次に、裁判官の方にお会いすべく、カールスルーエ行政裁判所へ向かいました。行政裁判所の外観もずばりお城です。最高裁判所とは違い、周りは静かな住宅街で人通りも少なく、大きな教会がありました。行政裁判所は、驚くべきことに裁判所のなかへ入っても警備員は一人もおらず、セキュリティチェックもありませんでした。行政裁判所の1階には法廷が3つあ

## 市民に開かれたドイツの裁判 —カールスルーエの特徴

たかはし ゆうか  
高橋 悠夏

法学部国際企業関係法学科3年  
宮城県石巻高校出身



カールスルーエに1カ月間滞在

